

東日本大震災 愛知民医連支援ニュース

NO. 17 2011. 4. 21 愛知民医連事務局発

名南病院 小南医師 医療支援報告

4/16-19東北支援に行ってきた報告です。

1日目(日曜日)は 坂病院の救急外来(救急車対応も含む、日勤)の手伝いでした。救急車は数台来ましたが 全員被災者で 避難所からの人が多く 脳出血、腎不全の悪化などでした。外来受診者も 多くは避難所関係の人で 呼吸器感染等が中心でした。それほど 忙しくはありませんでした。

2日目(月曜日)は 加賀城文化センターという500人程度の避難所で 午前中と 夜(午後6-8時)活動しました。

午前中は 避難所での診察ブースを担当し 20人程度診察しました。上気道感染や不眠 消化器症状 外傷など 結構忙しく 1人肺炎患者を病院へ転送しました。普段 正常な血圧の人もふくめ 半分以上の受診者が高血圧状態でした。

夜は Nrと医学生と3人で 回診しました。それほど 重症者はいませんが 発熱患者も 雑魚寝状態、胃痙の人までいました。中高年者で 1人で避難所にいる人が多いようでした。

全体としては ライフラインも安定しつつあり 坂病院の職員は 大分落ち着いていました。ただし 避難所等への医療活動は 外部からの支援がまだ当面必要だと思いました。

横地薬剤師 (ファルマネットみなみ) 支援報告

つばさ薬局広域処方せん集中で大忙し！

* 4月15日から支援に入っている薬剤師の横地さんからの報告の一部を紹介します。

『昨日と今日は坂総合病院へ配置されて注射調剤に入っています。病院の方は落ち着いているのですが、門前のつばさ薬局は大変なようです。近隣の薬局が被害にあって営業を再開していないので、そういうところから、いわゆる広域の処方せんが入り込んでいて通常400枚程度が連日600枚を超える処方せんが入っていて、待ち時間も80分、支援に入った薬剤師がしゃべりっぱなしで喉が枯れてしまったと、6時半過ぎに帰ってきて言っていました。…5月段階は民医連の全国的な連帯を肌で感じてもらうために、若手の方にも行ってもらうのもいいのではないのでしょうか…』

5月も規模は縮小しますが、支援は継続されます。

- * 全国的には、岩手・宮城・小名浜(福島)への支援が継続されます。
- * 東海・北陸の民医連は引き続き、宮城への支援です。医師1名、看護師2名、事務他1名などの支援が必要ですので引き続き検討をお願いいたします。
- * 東北新幹線も復旧の予定ですが、5月中旬までは全日本民医連支援バスも運行します。